臺灣日日新報 第一万五千五百九十五號 昭和十八年八月二日（月曜日） （第二種）（昭和十一年五月九日第三種郵便物認可）

ビルマ國堂々獨立を宣言

建國議會を召集宣言
大戰下歷史的第一步
初代國家代表にバーモ氏

【ラングーン一日發同盟】一日午前十時河邊ビルマ方面軍最高指揮官より軍政並に行政府を廢止の布告の示達を受けたバーモ長官は直ちに獨立準備委員會任務完了により委員會を解散して新たに獨立準備の爲建國議會を召集する旨を宣言した、斯くて建國議會は廿五名の代表者より成立、午前十一時開會、推擧に依りバーモ氏議長となり先づ本議會は民衆代表の議會である旨、國家者臨場の下にバーモ議長は歷史的なる感度の内に國の獨立を宣言した、時に午前十一時三十分、まさに大東亞の新しき歷史を拓く大いなる感慨は思ふに餘りあるものがある、ビルマ國はありビルマ國の國是は道義國家として新秩序創造に寄與せんとするにあるとの趣旨を骨子とする長文の獨立宣言は壁重豐かなる、ヲ・セイン氏の感激に震へる聲によつてラジオを通じて全ビルマ國民に中繼され、更にトーキーに收められた、續いて建國議會は獨立準備委員會の起案になる國家構成に關する基本法の審議に移りこれを可決した、右基本法は更めてビルマ國憲法が制定されるまでの間ビルマ國のものである、終つて議會はビルマ國の首班たるべきバーモ氏を全會一致を以て正式に國家代表に推薦、茲にバーモ氏は新生ビルマ國の初代國家代表として全ビルマ國民の總意をもつて就任したのである、バーモ國家代表は異常な感激と決意とを以て茲に基本法の命ずる所に從ひ國家代表たるの責任を果すべき眞の宣誓を行ひ斯くて建國議會はその劃期的重大使命を完了して正午解散した、斯くてビルマ國は茲に完全に獨立し大東亞戰爭に歷史的第一步を踏出したのである【發國に初代國家代表バーモ氏】

獨立宣言書

國家の地位回復す
物心兩面、戰爭支持

【ラングーン一日發同盟】ビルマ國獨立宣言（次の）左の如し

「獨立宣言書」本日ビルマは五十年以上に亘る英國の侵略的支配の桎梏より自由にして獨立國たることを宣言する、ビルマは國際社會の一員として世界の平和と繁榮とに貢獻せんことを期するものなり、英國の統治を見るまでのビルマの歷史を通じビルマ人は絶えず國家の獨立を回復せんことを努めその間幾度か獨立を失ひたるも常に之が回復に努めたり、英國の統治は一八八六年ビルマの併合に始まりたるものにして英國はビルマ人の意思に反して之を强行したるものなり、ビルマ人は英國の統治に對し不斷の反抗を續けたり、ビルマ人の英國に對する反抗は英國の統治が最も安定せりと考へられたる時代に於ても跡を絶たざりき、ビルマ人は英國の統治を以て外國の統治なりと考へたるが故なり、英國の統治は如何なる點に於ても正當ならず、ビルマ人は英國の統治を以て國家の獨立を侵害し國民の福祉を無視するものなりと考へたり

變貌する統治政策

對日協力も更に緊密化

愼重に戒律生活を善導

南方の宗教改革は自發的意思に俟つ

昭和十五年の佛印を訪ふ

双肩に擔ふ新比島

獨立準備委員の橫顏 ⑤

日本文化の禮讃者

經濟界の大立物

綿密なその能力

技術家出身アランス氏

ビルマの人的資源

先づ中産階級の育成へ

新中國の領土完整

歷史的租界回收式

上海司法機構根本的に改革

國府の財政强化へ

課稅權移讓の意義

海南島在留邦人

擧つて貯蓄實踐

建設と熱帶醫學

宮原初男

濠洲防衛の第一線

ポート・モレスビー

訪日タイ宣傳

陣容首腦西下

盛上る中國の熱意

厦門で決戰生活聯盟結成

天與の頭腦と人情味

東洋精神說くユーロ氏

魔の南海漂流三日

大體平年作は確實

本年度稻作柄 植付成育共に順調

不氣味な

佛印ヨードチンキ

海南島

西南太平洋の基地

華中農村合作

社移管式擧行

越南文化發揚

海口日增の發展

回收運動好成績

魔の南海遠流三日

無念・雷鳴寸前に被弾

片脚停止、拾身魚雷発射

英霊勇士奮闘の生還記

大體本年作は確實

農作物作況官発に順調

「模型と防空展」終る

入場者三萬を數ふ

全島ラジオ體操會開幕

眼前に歩哨二人

本島國被徴員の待遇劃期的改善

初代海志訓練所長

杉本宇市大佐任命さる

直く健やかに伸びよ

鹿岡兵務部長 嬉くる遺兒を訓す

隆船はり灸院
鍼灸・整骨
電コム(3)1〇〇番
社會式株會
(三)

群る敵機忽ち撃墜
胸のすく我が神技
敵の前進基地衡陽を叩く

【大本營發表（昭和十八年八月二日十一時三十分）】一、我が航空部隊は二十九日夜半より三十日朝にかけ敵の前進基地衡陽（湖南）及び同飛行場を攻撃し、地上に多大の損害を與へ、我が方の損害は軽微であつた。二、三十日午前十時頃より十一時頃にかけ敵大型機約百機は數群に分れ、我が占領下の南部ビルマ要地に來襲したが、我が戰闘機隊は之を邀撃し、十一時三十分までに撃墜破四十數機を確認した。我が方の損害は軽微であつた。

軍民一體樂しい一時
喝采を拍す柴田上等兵
白衣の勇士が逆に慰問

【臺北電話】同時に樂しく、樂しくて樂しくて堪らぬ一時間！　白衣の勇士と慰問團の感激の對面！　昨日午後一時から臺北公會堂で開かれた軍民一體の慰問會は、この日の爲に特に招かれた臺北出身の陸軍上等兵柴田善雄君（臺北第四師團）の凱旋歸還を迎へて、三千米の銃後の護りに、一段と力強い感激の渦を捲き起した。

私は

と、壇上に立つ柴田上等兵の第一聲は、場内の隅々にまで響き渡つた。

私は、皆さんの樂しい慰安に與つたこの日の感激を、生涯忘れることは出來ません。

と、柴田上等兵は、感激に胸を躍らせながら、ポツリ〳〵と語り出した